

自衛隊神奈川地方協力本部

自衛隊音楽まつり

カレッジ防衛モニター 榎木 達志

「音楽まつり」と聞いてオーケストラの演奏会のようなものを想像する方もいるかもしれない。だが、「自衛隊音楽まつり」は違う。自衛隊音楽まつりは、「見せる演奏」であり、「魅せる演奏」だ。椅子に座って演奏するオーケストラ様の演奏スタイルではなく、行進やライティングによる視覚でも楽しませてくれる演奏なのだ。観客が声を出すような盛り上がり方ではないけれども、「祭り」そのものだ。楽曲は多種多様であり、今話題の映画スター・ウォーズや、アニメ進撃の巨人のメドレー。自衛隊作曲の和太鼓を使用した楽曲もある。今年はい米に加え、韓国の参加もあり、それぞれの国の特色の現れた楽曲が日本武道館に鳴り響いた。

楽曲と共に、踊りや楽曲をイメージさせる「役者」もおり、演奏で耳を、パフォーマンスで目を楽しませてくれる。音楽にこだわりのない人にこそ、「見て」欲しい演奏だと思う。

そして、変わった演奏もあった。声や楽器を使わない演奏。儀仗隊によるその演奏は、己の体と抱えるマイガーランドの音のみで奏でる音楽。静かな武道館に響く静寂と金属音が奏でるリズムは、新しい音楽であった。



観覧中の様子（本人一番手前）



自衛太鼓の演奏の様子

自衛隊音楽まつり

カレッジ防衛モニター 神田 祥佳

11月15日初めての日本武道館初めての自衛隊音楽まつりと、今回も貴重な経験をさせていただきました。初めて尽くしの体験の感想を一言で言うと、感動という言葉でしか言い表すことができません。

道というテーマで行われた今回の音楽まつりは、その名の通り、自衛隊の方々の道そのものを表していたように思います。どの演奏もレベルが高いだけでなく、動きもダイナミックで、自衛隊の方々にはできないものでした。自衛太鼓の方々の太鼓は初めて見ましたが、力強く会場で鳴り響くその音は、まさに自衛隊の方々の強い意志そのものでした。本当にかっこよかったです。他に、演奏以外にも防衛大学校儀仗隊の方々の演技も見せていただきました。メリハリのある動き、全員の少しもずれていないそろった動きなど、驚くほど綺麗でした。銃は見た目以上重いの、あんなにも軽やかに揃った動きができることに、正直同じ人間とは思えません。また今回はゲストとして、アメリカや韓国の音楽隊の方々の演奏も聴くことができ、貴重な体験となりました。日本の演奏とはまた違った音楽が聴けて楽しかったです。特に米空軍太平洋音楽隊の方が、ハナミズキを日本語で歌う姿には嬉しい気持ちとともに、これからこのような関係が続いてほしいと強く思いました。

毎回自衛隊のイベントに参加するたびに、自衛隊の方々が輝いていて私もいつかあんなふうになれたらな、と思います。次回のイベントも楽しみにしています。

成瀬中学校の総合的な学習の時間支援について



基本教練体験



ロープ結索体験



体験喫食

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、11月18日（水）、伊勢原市立成瀬中学校の1年生7名の、総合的な学習の一環として海上自衛隊横須賀教育隊研修を支援した。

参加した生徒は、自衛隊の研修は皆初めてであり、着いてから早々に行われた基本教練では緊張した面持ちで、日頃行ったことのない姿勢に四苦八苦する場面もあった。その後、体験喫食では緊張から解放されたのか、笑顔で完食した。

午後からは、海上自衛隊の多種多様な口癖結びを体験し、「日常生活で活かせる結び方も多くあり、覚えて活用したい」「帰ってから同級生に教えたい」との感想や、ほとんどの生徒から「自衛隊でいんなことが学べて、人の役に立てるので将来自衛官になってみたい」という声も聞かれ、大変有意義な研修となった。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、総合的な学習の時間に対する教育を支援したい」としている。